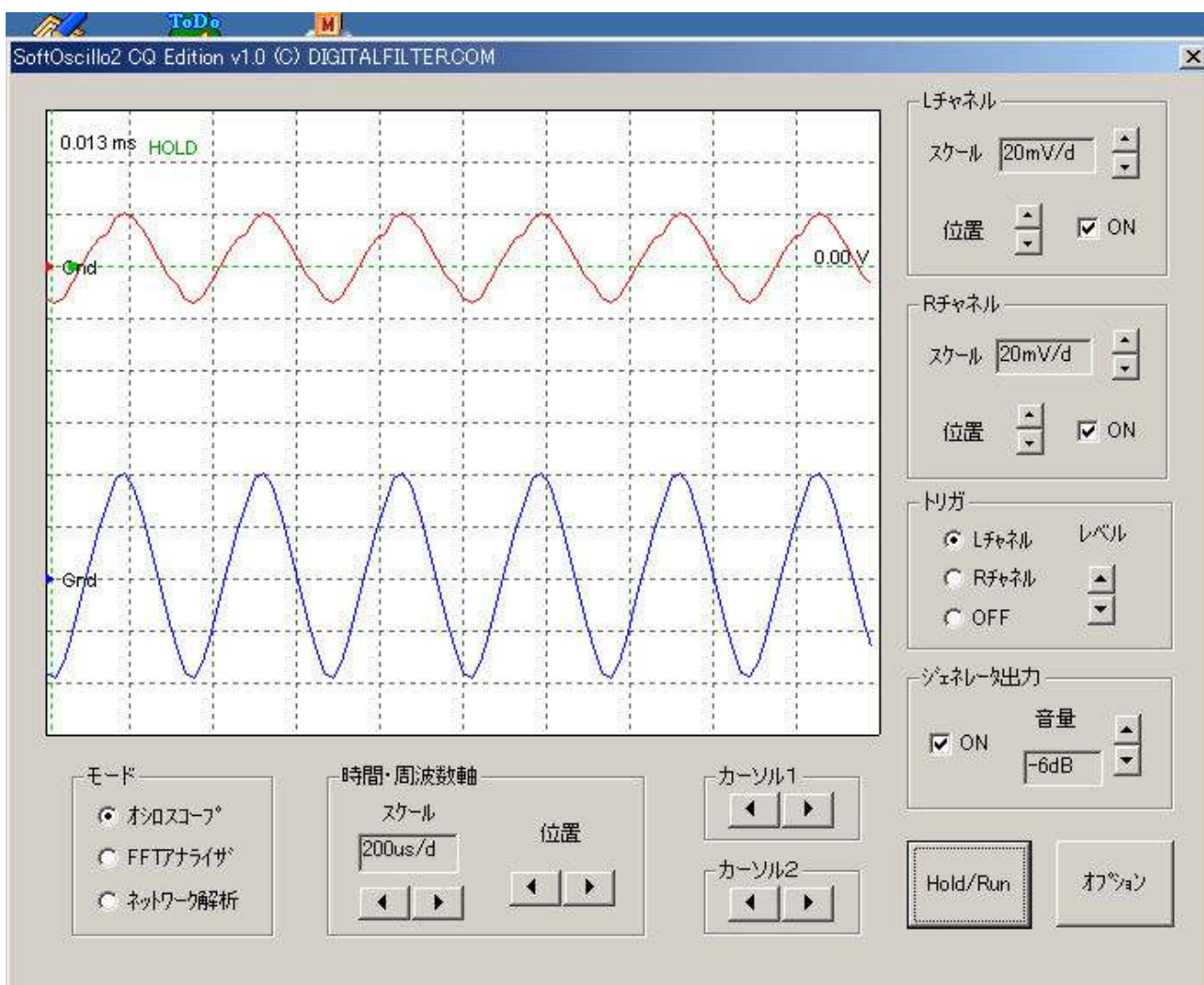


K29 Operation Amplifier Application Kit (AVIOSYS)

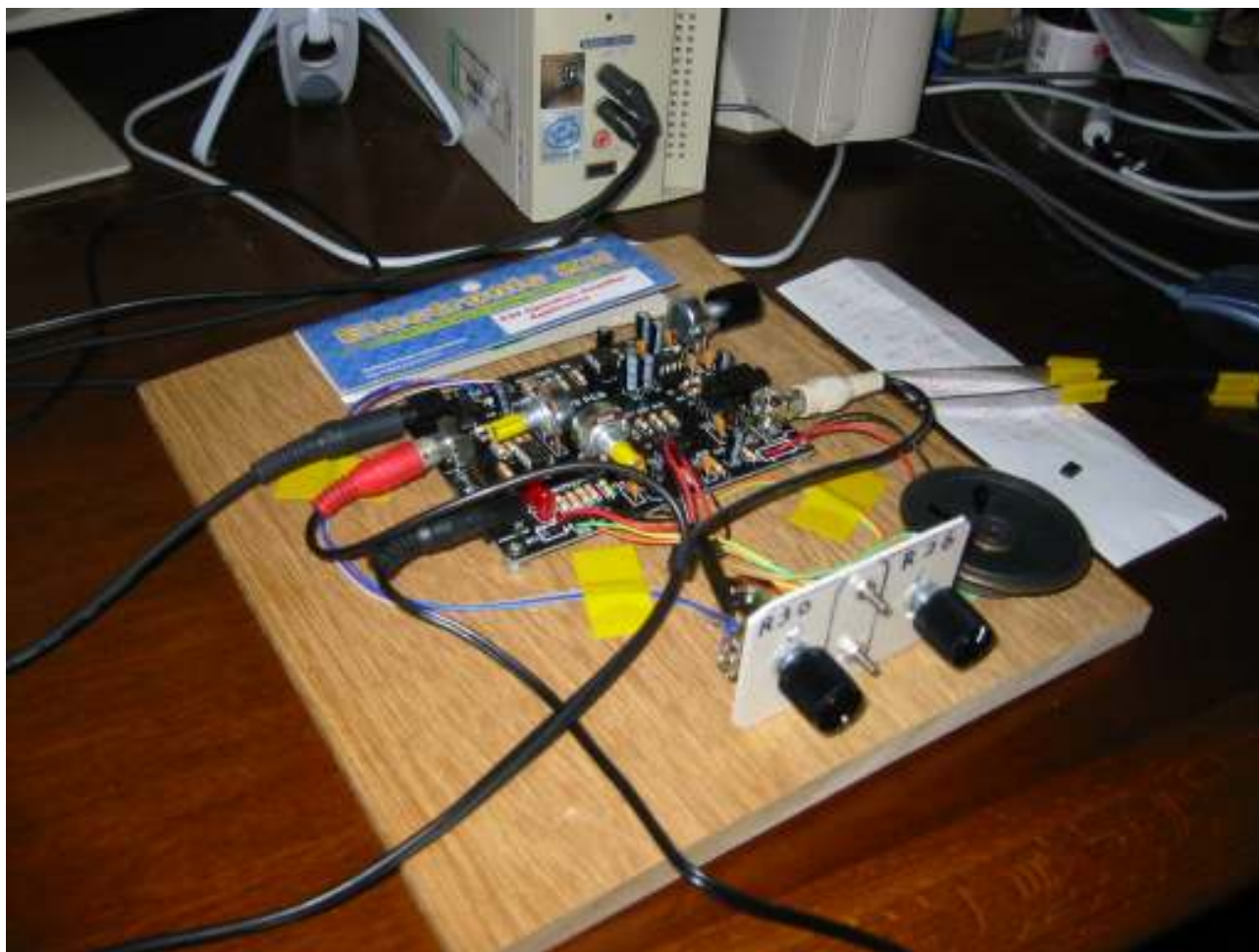
(2008年3月8日 完成)

下図は、パソコン・ソフト「SoftOscillo2」で表示された K29 オペアンプキットの波形です。



- Lチャンネル(赤線グラフ)の波形はオペアンプキットに入力した波形です。
- Rチャンネル(青線グラフ)の波形はオペアンプキットから出力した波形です。
- ジェネレータ再生に使用した Wave ファイルは「sin3k.wav」が最も安定していました。
(Hold/Run ボタンを押さなくてもほとんど停止状態でした)
- 出力波形の山の高さは、入力波形の2倍です。

成功した時のパソコンへの接続状態です。。



- 上側ケーブルは、スピーカー出力端子に挿入。下側ケーブルは、LINN_IN 端子に挿入。
- オペアンプの左側、上から黒色ケーブルは、スピーカー端子からのケーブル(モノラル側)。
- その下の赤色ケーブルは、パソコンの LINE_IN に挿入されているオーディオ・ステレオ・ケーブルの片方(ソフトウェアの L 側)。
- その下の黒色ケーブルは、AC アダプタ電源 (9V) ケーブル。
- 右側の白色ケーブルは、オペアンプの出力側 RCA ジャックに挿入された出力ケーブル。
- 右側赤色ケーブルと対になっているオーディオ・ステレオ・ケーブルのもう片方(ソフトウェアで R 側)。

測定用ケーブル(左右、各1)、オペアンプ、ACアダプタ



●オペアンプのジャンパは次のように設定。

J7 → 1-2 : ファンクション・ゼネレータから LM741 (U2) へ

J5 → 7-8 : 入力端子 (RCA ジャック & Phone ジャック) から LM741 (U2) へ

J1 → 3-4 : LM741 (U2) から出力端子 (RCA ジャック & Phone ジャック) へ

7-8 : 出力端子からキットのスピーカー (+) へ

●パソコンとオペアンプ間の接続用ケーブルは次のものを使用。

パソコン・スピーカ出力ポート → ステレオ側 (2 本線あり)

オペアンプキット K29 Phone ジャック IN → モノラル側 (1 本線)

※ ケーブルは、Victor CN-207A を使用 (ヤマダ電機でゲット、720 円)

オペアンプキット K29 の RCA ジャック IN → 赤色 RCA ピン使用

オペアンプキット K29 の RCA ジャック OUT → 白色 RCA ピン使用

パソコン LINE IN ポート → オーディオ・ステレオ・タイ・ピン (2 本線) 使用

※ オーディオ・ステレオ - RCA コンバージョン・ケーブルは所持品使用

K29 オペアンプキット回路図

【写し間違いがあるかも知れません(-_-;)】

